

OER5200形 5～8次車 更新タイプ

Nゲージボディ4両未塗装スナップフィットキット基本セット

組立説明書



製品概要

OER5200形は、先に製造されていた5000形の設計を一部変更して1976年に登場した通勤電車です。

基本的な仕様は5000形と同一ですが、客用窓の一段下降化や前面手すり形状の変更、6両編成のための編成構成などを採用した結果、5200形として区別されました。

登場後は急行列車を中心に幅広く活躍し、1990年代以降は更新工事を受けつつ2012年まで活躍しました。

伝統的な頭部二灯ライトや中央貫通扉をもつ顔立ちを採用した最後の形式であり、全車が廃車となった今でも不動の人気を誇る形式です。

nano factoryでは、OER5200形のうち、後期に製造された5～8次車6両編成の更新工事後の姿を選定して、3Dプリントにて皆様にご提供いたします。

ピンをピン穴に挿入し、相互の摩擦力で結合するスナップフィットを採用しているため、簡単に組立が可能です。

製品仕様

車体	屋根	床板	台車 (車輪別)
床下 機器	ダミー 連結器	屋根上 機器	動力化 対応

製品名：OER5200形 5～8次車 更新タイプ

Nゲージボディ4両未塗装スナップフィットキット基本セット

数量：OER5200形 4両編成

(クハ5250/5550×2、デハ5300/5500×2、デハ5400×1)

内訳：

クハ5250/5550：

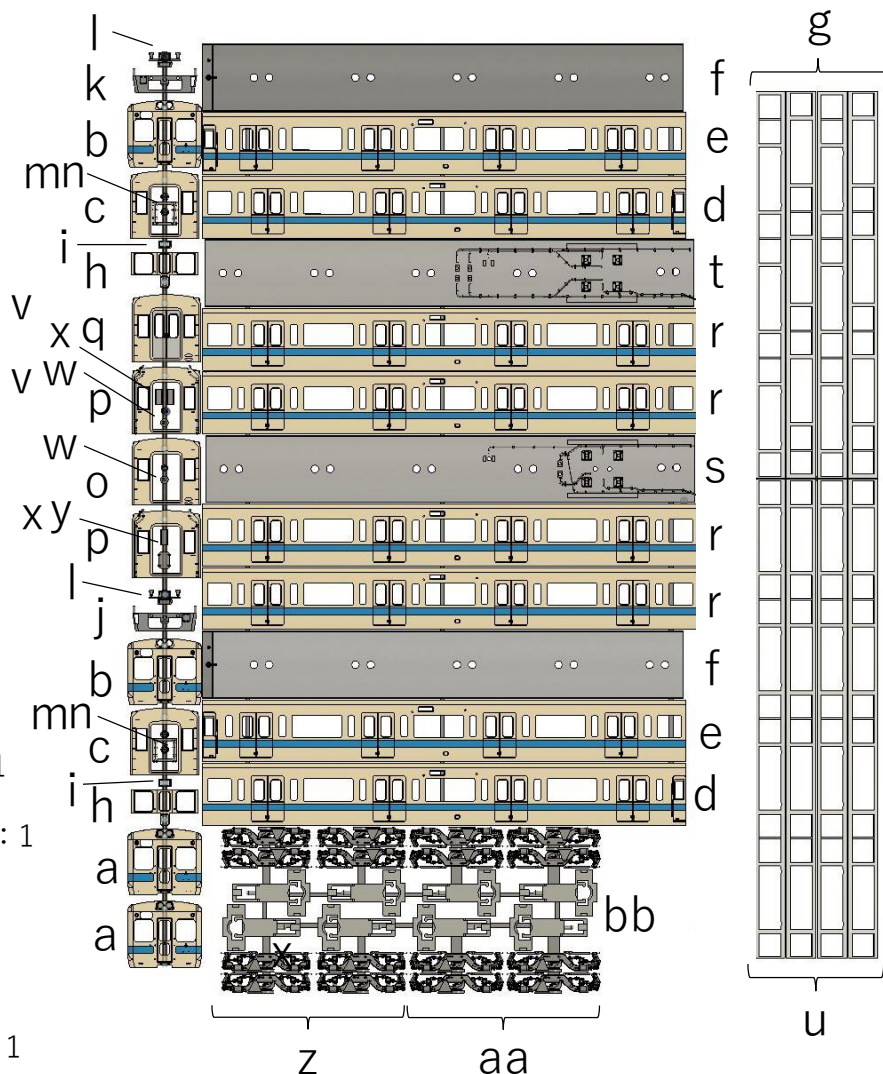
- a. 原型ライト前面：2
- b. シールドビーム前面：2
- c. 妻面：2
- d. 側板左側：2
- e. 側板右側：2
- f. 先頭車屋根板：2
- g. 先頭車用側面サッシ：4
- h. 前面Hゴム：2
- i. 前面種別表示Hゴム：2
- j. 新宿方スカート：1
- k. 小田原方スカート：1
- l. 電連付密着連結器：2
- m. 前面手すり：8
- n. シールドビームライトリム

デハ5300/5400/5500：

- o. デハ5300/5500妻面(配管無)：1
- p. 妻面(配管有)：2
- q. デハ5400妻面(配管無貫通扉有)：1
- r. 中間車側板(左右共通)：4
- s. デハ5300/5500パンタ台付屋根板：1
- t. デハ5400パンタ台撤去屋根板：1
- u. 中間車用側面サッシ：4
- v. 避雷器(旧)：1
- w. 避雷器(新)：1
- x. ヒューズ箱(旧)：3
- y. ヒューズ箱(新/デハ5400不使用)：1

台車：

- z. FS-075台車枠：8
- aa. FS-375台車枠：8
- bb. 台車ボルスタ：8



製品仕様

車体	屋根	床板	台車 (車輪別)
床下 機器	ダミー 連結器	屋根上 機器	動力化 対応

製品名：OER5200形 5～8次車 更新タイプ

Nゲージボディ4両未塗装スナップフィットキット基本セット

数量：OER5200形 4両編成

(クハ5250/5550×2、デハ5300/5500×2、デハ5400×1)

別途必要品：完成には下記の弊社別売品及び社外品が必要です

- 床板：GM 20m級 TR200A(ピボット集電・スナップ式台車対応品)：4枚
- 床下機器：社外品要工夫
- 中間連結器：アールド カラー 又は 各社カラー：4両分6個
- 先頭連結器：TOMIX TNカラー 密着連結器(グレー)：1個(必要な場合)
- 車輪：
 - 【クハ】 KATO Bトレ小型車両用台車Φ5.2絶縁車輪(品番11-099他)：8個
 - 【デハ】 トミテック 鉄道コレクション Φ6.0絶縁車輪(品番TT-05)：8個
- 動力ユニット：GM コアレスモーター動力ユニット 20m級A (品番5711)：1個(台車枠要工夫)
- パンタグラフ：GM PT42Nパンタグラフ 又は GM PT71Cパンタグラフ：2個
- クーラー：nano factory CU-12B 又は GM RPU3041クーラー：20個
- 窓ガラス用透明板：透明塩ビ板・プラ板切出、前面2・側面8・妻面6
- 車体表記インレタ：GM 品番6403 又は タヴァサ 品番PX9492-3 推奨

本製品の特徴

製品名：OER5200形 5～8次車 更新タイプ

Nゲージボディ4両未塗装スナップフィットキット基本セット

数量：OER5200形 4両編成

(クハ5250/5550×2、デハ5300/5500×2、デハ5400×1)

車体	屋根	床板	台車 (車輪別)
床下 機器	ダミー 連結器	屋根上 機器	動力化 対応

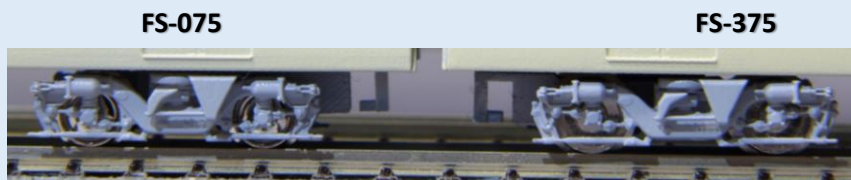
・本製品は、OER5200形のうち5～8次車の車体修理更新後の姿をプロトタイプとしています。



スカート
欠き取り左
クハ5250



スカート
欠き取り右
クハ5550



- ・ **前面手すり**：9000形以降に採用された新型手すりを付属
- ・ **前面貫通扉**：前面貫通扉の窪みが浅くなった姿を再現
- ・ **ヘッドライト**：原型ライトとシールドビーム化の2種類を再現可能な前頭部を付属
- ・ **スカート**：クハ5250と5550でスカート左右の欠き取り位置を作り分け
- ・ **窓サッシ・Hゴム**：塗分けの難しいサッシ・Hゴム部を別パーツ化
- ・ **屋根板**：デハ5400はパンタ撤去車を再現、屋根裏の準備穴開口でパンタ存置車も再現可能
- ・ **避雷器**：旧型の六角形タイプと、新型の円筒形タイプを選択可能

- ・ **ヒューズ箱**：旧型形状と新型形状を選択可能
- ・ **側面**：戸袋窓・客扉窓とも金属押えとなった5～8次車形状を再現
- ・ **前面連結器**：ダミーカプラーのほか、TN密連カプラーの装着が可能
- ・ **台車**：クハ用FS-075とデハ用FS-375の軸距や軸ばね長など違いを作り分け
- ・ **組立**：スナップフィットキットのため、ボディと屋根板を差し込むだけで組みあがります。組立後は補強のため裏から瞬間接着剤を流し込んでください。詳しくは組立説明書をご覧ください

製品外観

製品名：OER5200形 5～8次車 更新タイプ

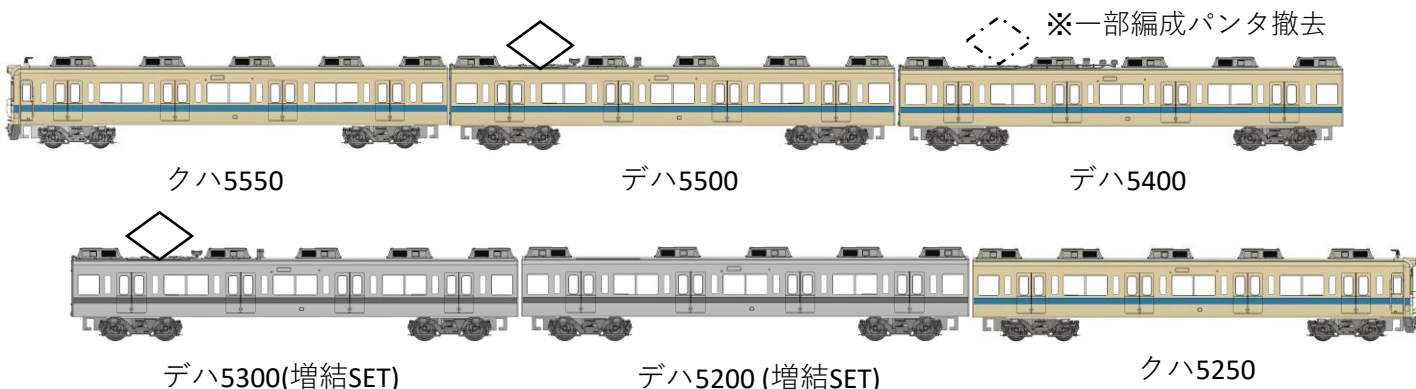
Nゲージボディ4両未塗装スナップフィットキット基本セット

数量：OER5200形 4両編成

(クハ5250/5550×2、デハ5300/5500×2、デハ5400×1)

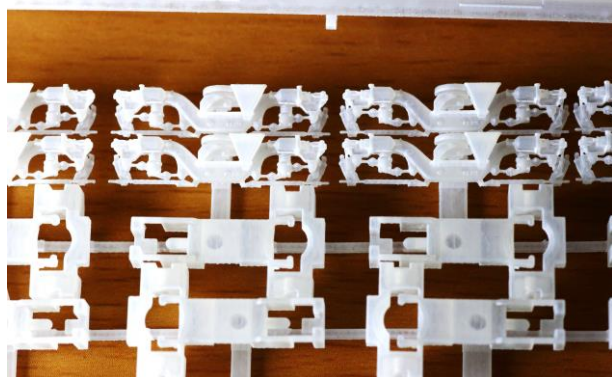
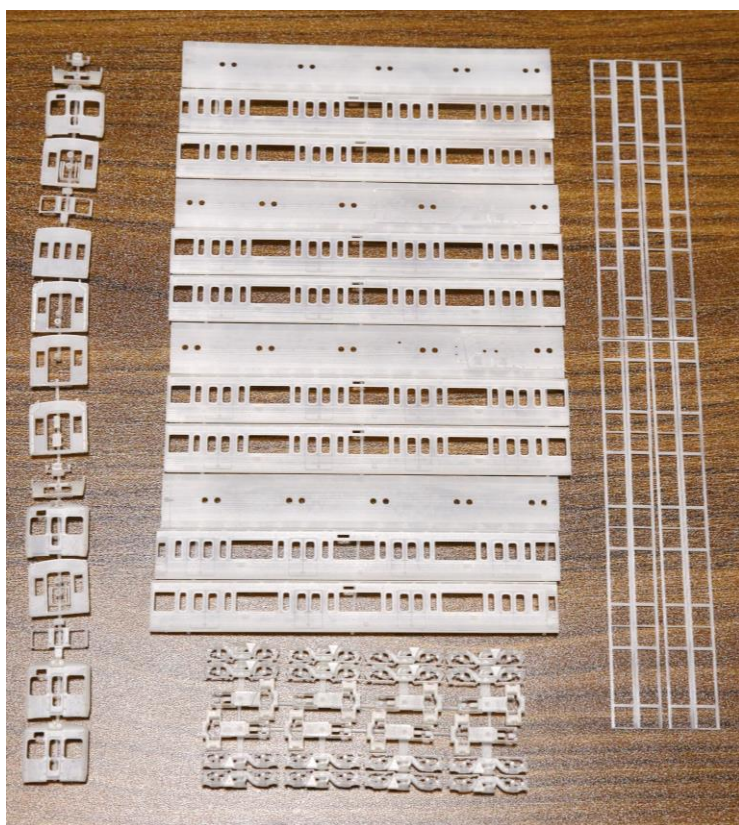
←小田原・藤沢・唐木田

新宿→



納品状態

※写真は試作品です 製品版とは異なる場合があります



製品外観 形式写真 ※写真は組立例です



Tc クハ5250/5550
(スカート向き
新宿・小田原方付属)



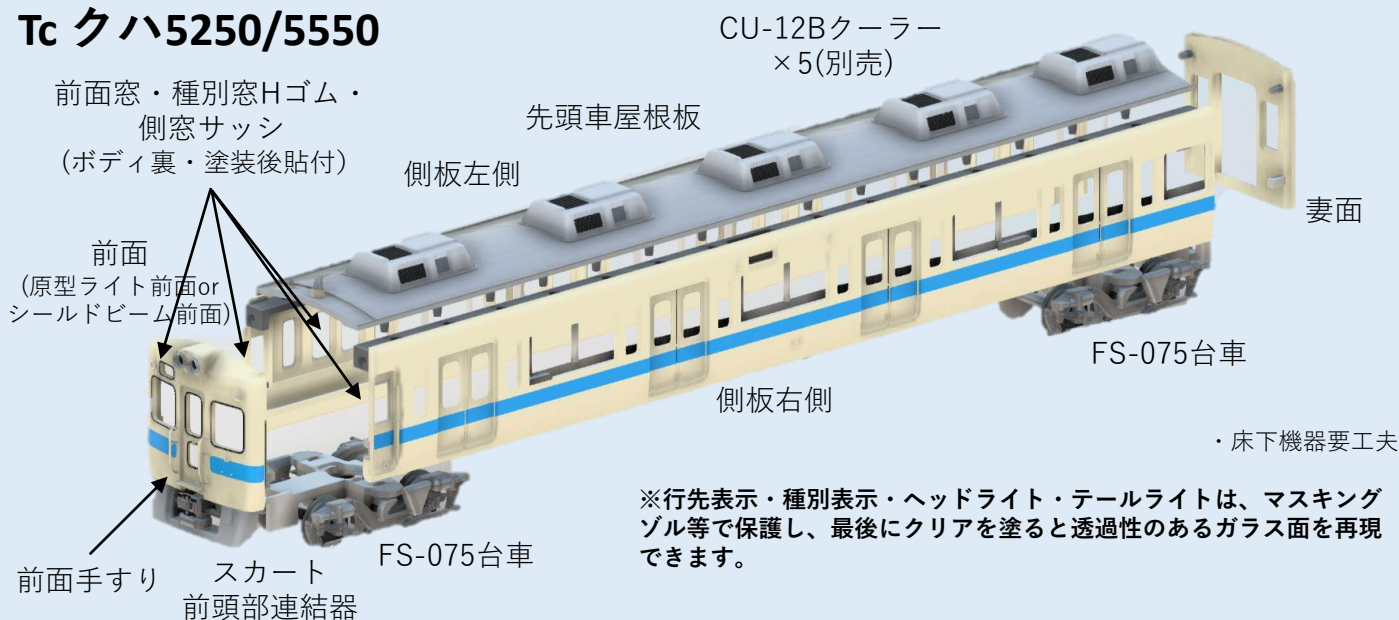
M2/4 デハ5300/5500
(ボディ共通)



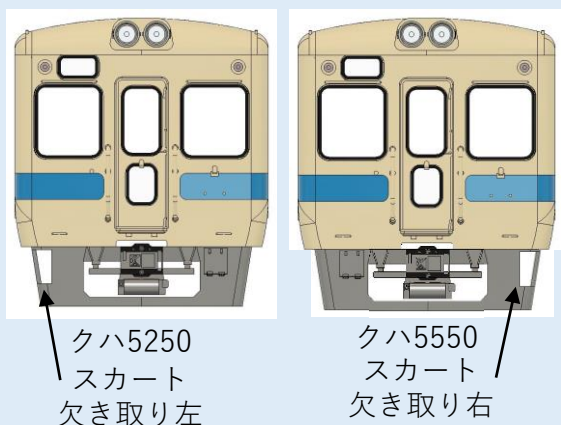
M3 デハ5400

組立図

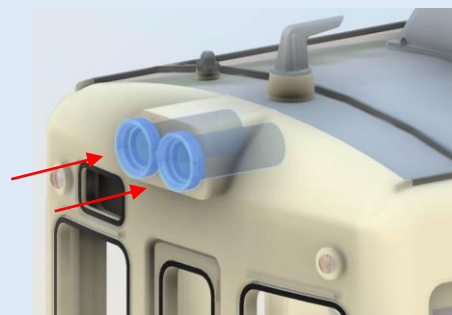
Tc クハ5250/5550



クハ5250/5550スカート差異

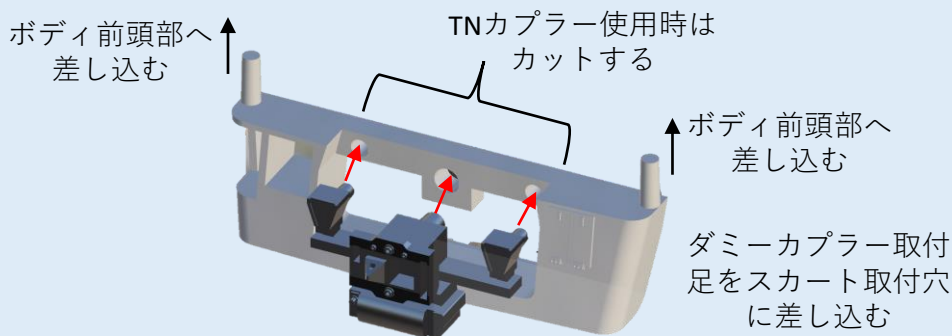


クハ5250/5550シールドビームライトリム



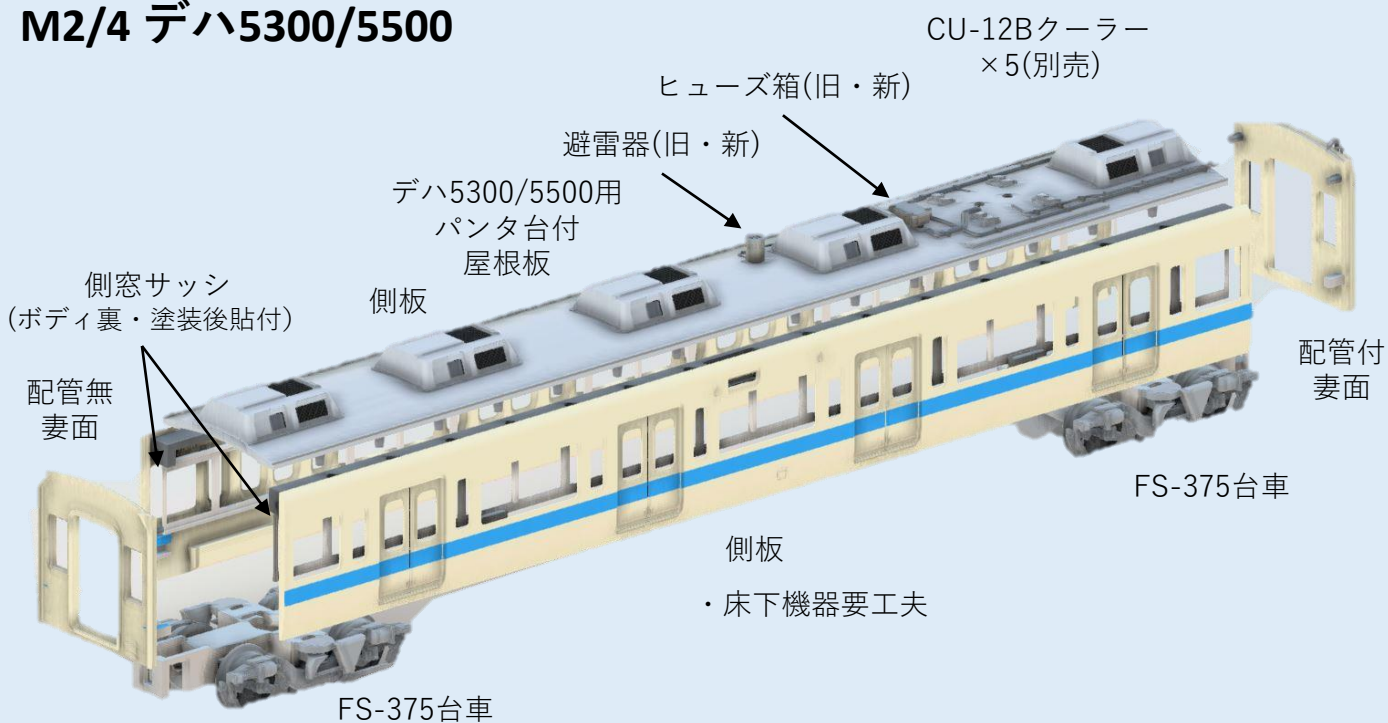
シールドビームのリムをシルバーで塗装し、前面ライトケース開口部に挿入する

スカート・前頭部連結器

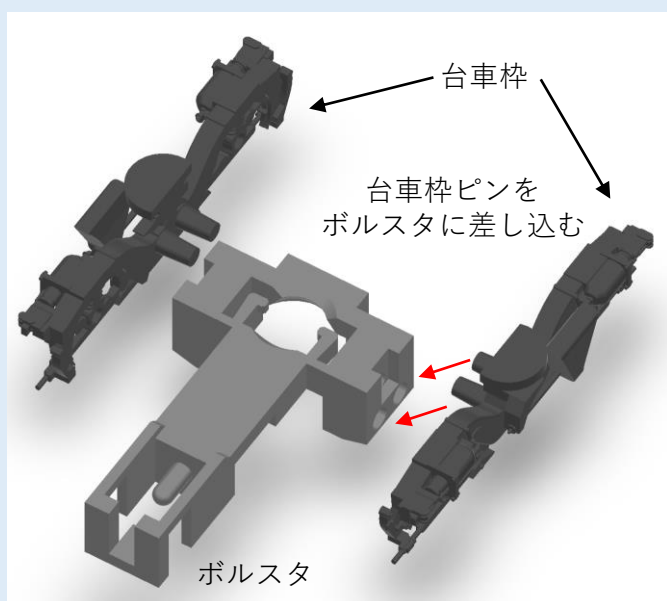


組立図

M2/4 デハ5300/5500

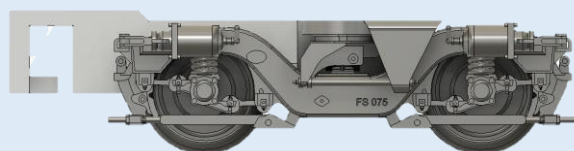


FS-075/375台車組立



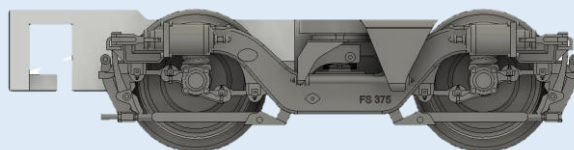
FS-075/375台車の違い

FS-075台車



軸距：2100mm
 軸ばね長：長
 車輪径：Φ5.2 (KATO小型車両用車輪 推奨)

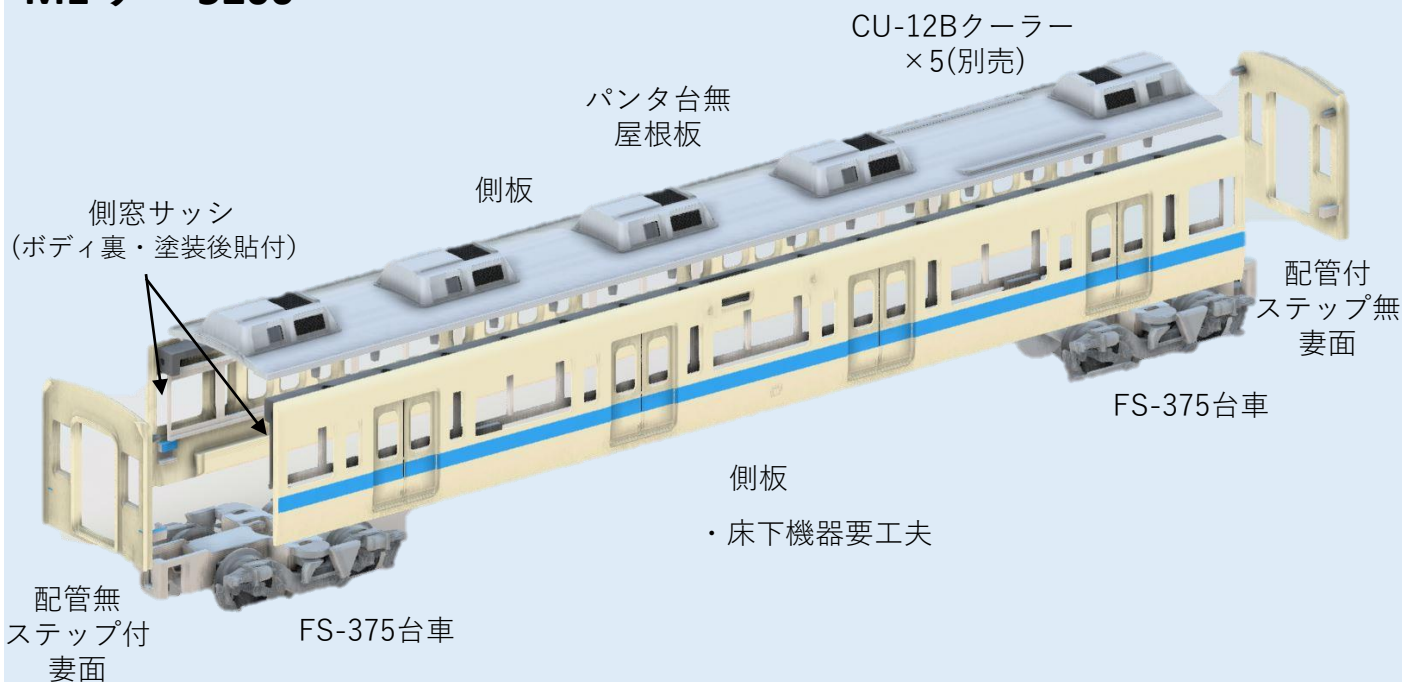
FS-375台車



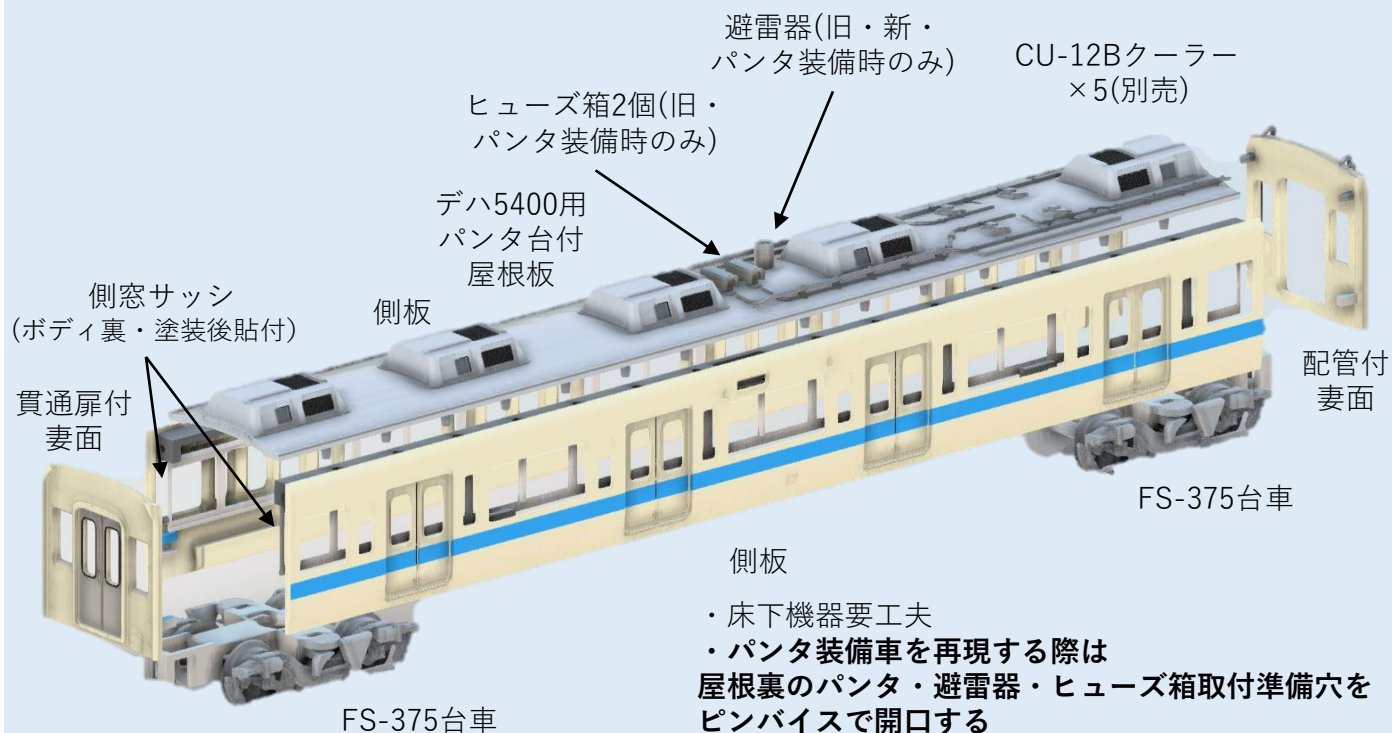
軸距：2200mm
 軸ばね長：短
 車輪径：Φ6.0 (トミーテック鉄道コレクション車輪 推奨)

組立図

M1 デハ5200



M3 デハ5400



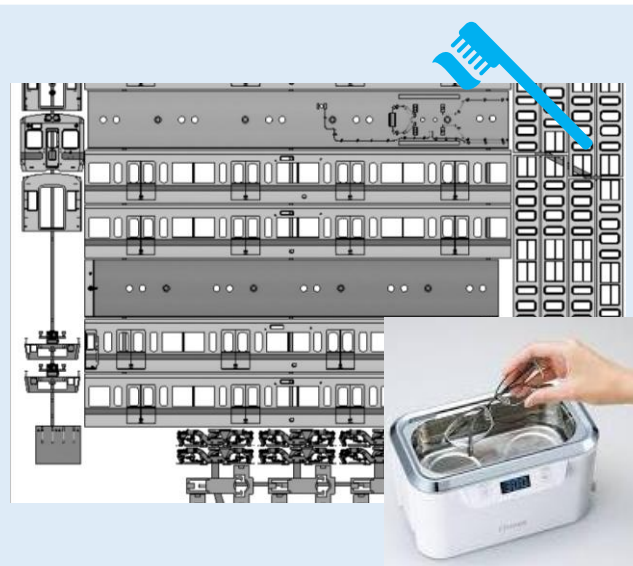
組立説明・手順 (スナップフィットキット 共通)

1. 全てのパーツを中性洗剤で洗浄します

パーツ表面の油分を取り除き塗料の定着を良くします。

このとき歯ブラシを使用し、ぬるま湯で丁寧に擦るとよいでしょう。

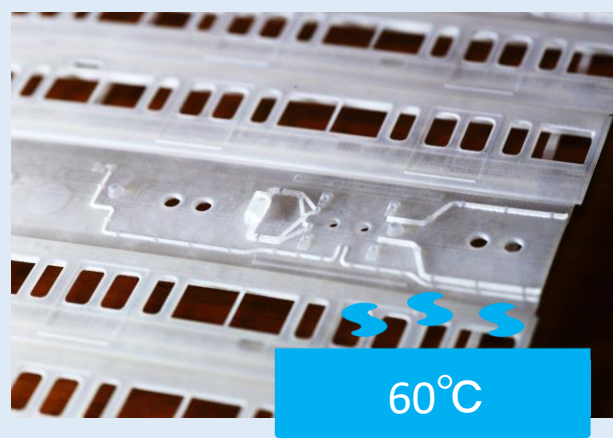
超音波洗浄器を使用すると、入り組んだ場所まで綺麗に洗浄できます。





2. 反りのあるパーツは60℃程度のお湯に浸し、手で矯正します

ボディや屋根板など、細長い板状のパーツは反りがある場合があります。軽微な反りはボディ接着の過程で矯正されますが、強い反りは60℃ほどの熱湯に浸すか、平板にヘアゴム等でプリント品を固定し、ドライヤーで熱することにより事前に矯正することができます。

熱湯を使用する際はやけどに十分ご注意ください。また、高温すぎると変形の原因となりますのでご注意ください。

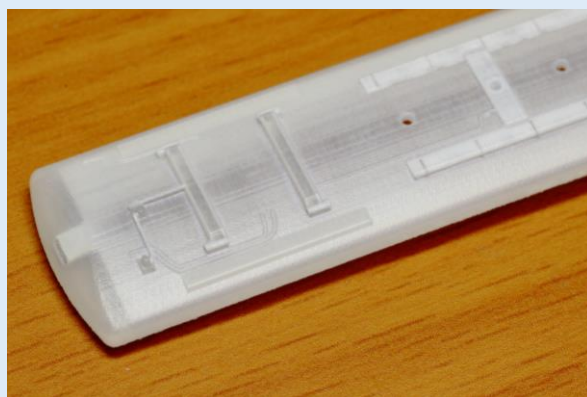


  やけどに注意

3. 積層痕形目立つ場合は、紙やすりで削ります

ボディや屋根板などに曲面・勾配がつく箇所は、3Dプリントの特性上積層痕と呼ばれる木目のような凹凸が発生します。

そのような箇所は、#600～#1200程度の紙やすりで削り平滑にしてください。削りすぎてディテールを損なわないようご注意ください。



組立説明・手順 (スナップフィットキット 共通)

4. ボディ4面と屋根板のピンとピン穴を結合します

スナップフィットキットでは、ピンをピン穴に挿入するだけでボディを組み立てられます。

屋根板は塗装後に取り付けることも可能ですので、必要に応じて組立順序を前後させて下さい。

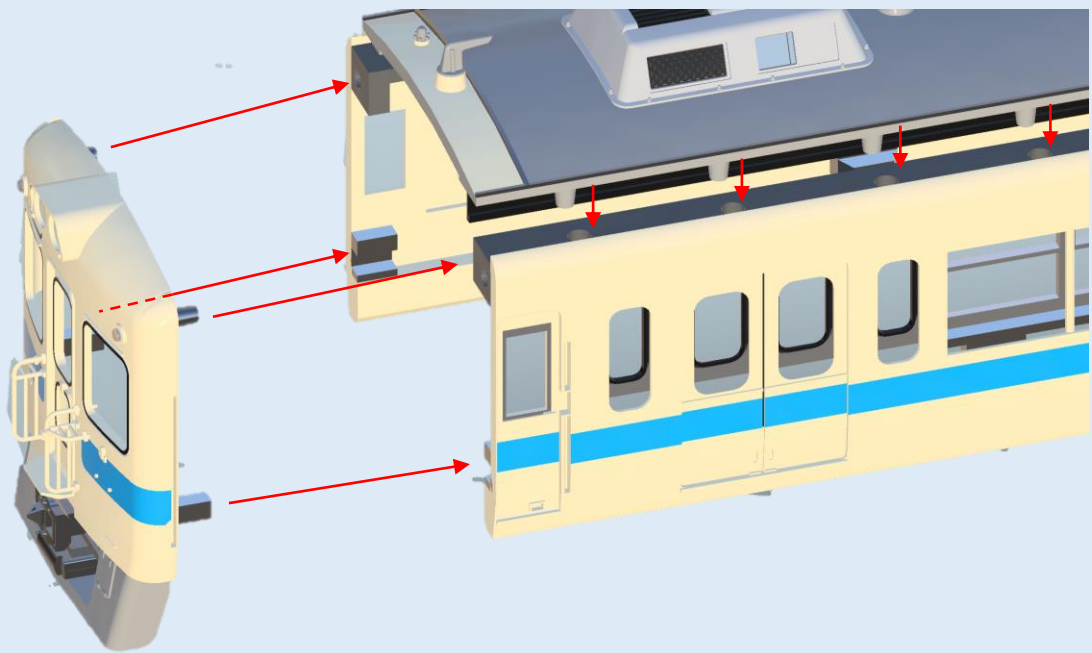
但し、先にボディと屋根板を組立てた方が剛性が高いため、作業が安定します。

結合後は、ピンとピン穴の接合部分に瞬間接着剤を流し込んで補強してください。



ボディに反りが残っていても組立の過程で矯正されますが、強い反りは事前に熱湯やドライヤー等で矯正しておくとう組立が簡単です。

スナップフィットキット 組立図



前面及び妻板のピンと屋根板のピンを、側板のピン穴に差し込むだけ！

※差し込むだけで組立可能ですが、補強のためボディ裏から接合部分に瞬間接着剤を流し込んでください。